

四日市市幼児教育センター

令和5年8月発行

センターだより

は ぐ ぐ む

夢と志を持ち、未来を創るよっかいちの子ども

四日市市幼児教育センターHP

連絡先 059-333-6002



幼児教育インタビュー

三重県保育協議会
会長 藤谷 俊文
まちなかフジ保育園長様



——この地域で小規模事業所をはじめられたのですね。——

ここに作りたかったです。まちなかで、交通の便がよく利用しやすいことが、就労し子育てしていく保護者さんを支援していくことにつながると感じました。この制度が始まった時から開園し、今年で8年になります。子どもを中心に、様々な勤務形態の保育者が関わり、今日に至っています。

——長年保育園運営に関わり、何が大事であると思いますか。——

保育が変わってきたこと、社会が変わってきたことなどを日々実感していますが、20代・30代・40代・50代・60代それぞれの世代の職員がおり、世代を超えて話をする、時には言いたいことを言い合う、やはり語り合うことで、信頼関係を作っていくことが大事だと思います。これは、保護者の方も同じですね。話し合える関係、信頼関係ができていくか。何か起こった時にこじれてしまうかどうか、それまでの関わりが問われていくのではないのでしょうか。地域との関係も同じです。日常的に挨拶をし、声を掛け合っているか。園長から始め、職員にも促しています。

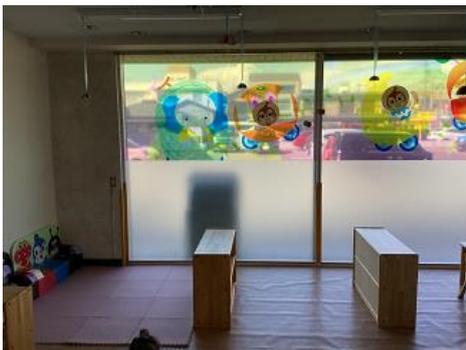
そして、何かあったら、その日に解決しようとの思いで、すぐ対応すべきだと思います。最近の社会問題を見ても責任者あるいは管理者の対応が問われていると思います。

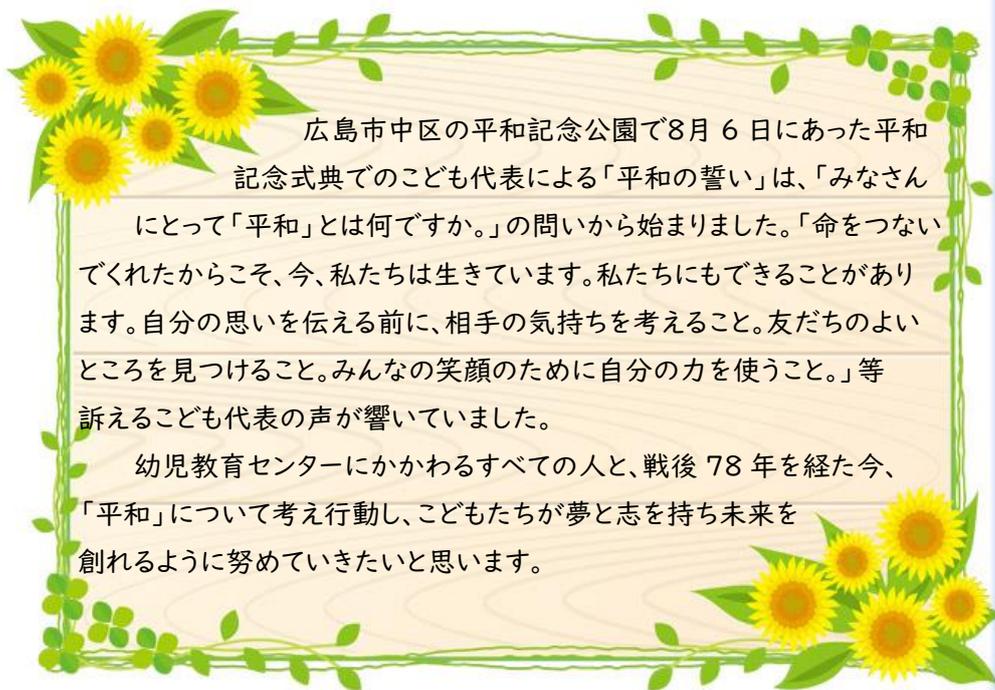
——職員研修や幼児教育センターの研修へのご意見をお聞かせください。——

研修も大切ですが、情報交換の場も必要だと思います。研修時間はあまり長いと現場が無理をしてしまうので、配慮が必要だと思いますよ。

講師によって人が多く集まるなどの差があるため、大事なことを多くの人に瞬時に伝えたいときは、講師の選定をどうするかだと思います。研修に参加し、自分を振り返ることは、大事ですね。

——本日は見学とお話の時間をとっていただきありがとうございました。保護者さんの思いに寄り添う保育園として小集団での工夫を感じました。今後とも、幼児教育センターへの温かい励ましをよろしくお願いいたします。——





広島市中区の平和記念公園で8月6日にあった平和記念式典でのこども代表による「平和の誓い」は、「みなさんにとって「平和」とは何ですか。」の問いから始まりました。「命をつないでくれたからこそ、今、私たちは生きています。私たちにもできることがあります。自分の思いを伝える前に、相手の気持ちを考えること。友だちのよいところを見つけること。みんなの笑顔のために自分の力を使うこと。」等訴えるこども代表の声が響いていました。

幼児教育センターにかかわるすべての人と、戦後78年を経た今、「平和」について考え行動し、こどもたちが夢と志を持ち未来を創れるように努めていきたいと思えます。

お知らせ

図書室に、小学校1年生の教科書を展示しています。



国立教育政策研究所ホームページに「OECD 国際幼児教育・保育従事者調査 (TALIS Starting Strong) は、経済協力開発機構 (OECD) によって実施される幼児教育・保育 (ECEC: Early Childhood Education and Care) の環境に焦点を当てた国際調査です。幼児教育・保育に携わる保育者及び園長・所長に対して質問紙による調査を行い、園での保育実践の内容や、勤務環境、仕事への満足度、養成・研修、園でのリーダーシップなどについて、国際比較を行っています。2018年に日本を含む9か国が参加して初めて実施され、次回は2024年の実施を予定しています。当センターは、こども家庭庁、文部科学省と連携、協力しながら、調査の国内における実施・分析を担っています。」とあります。

当幼児教育センターの研修・アドバイザー訪問・研究が保育者の専門性や保育の質向上につながることを来年度の調査を前に、改めて願っております。(国立教育政策研究所ホームページへは、当幼児教育センターホームページ関連リンクに国立教育政策研究所バナーが貼ってありますので、ぜひご覧ください。)